学年	教科名	科目名	単位数	対象コース
高校３年	地理歴史	地理探究	4	SS 理系コース
教科書・副教材		地理探究(東京書籍)　新高等地図(東京書籍)　サクシード地理（啓隆社）		

科目の目標
「地理探究」は，必履修科目である「地理総合」の学習によって身に付けた資質・能力を前提に，系統地理的な考察，地誌的な考察によって習得した知識や概念を活用して，現代世界に求められるこれからの持続可能な日本の国土像を探究するための科目です。すなわち，「地理探究」は，「地理総合」の学習を前提に，地理の学びを一層深め，生徒たち一人一人が「生涯にわたって探究を深める」ためのきっかけづくりとして位置づけられ，系統地理と地誌に大別される地理学の成果や方法をふまえた上で，地理的な諸課題を探究することを通して持続可能な社会を形成することを意図して学習内容が構成されているのです。 本科目の学習対象となる現代世界は，グローバル化の進展に伴って国や地域が結びつき，相互依存関係を一層強めています。一方で，私たちを取り巻く地球環境や国際情勢は日々変化を続け，それに伴い，身近な生活圏規模のレベルから，国家規模のレベル，地球規模のレベルに至るまで数多くの課題を抱えています。これら諸課題の解決策については，地理的な見方・考え方を身に付けることで見出すことができるはずです。そのために，地球上に存在する多様な自然環境とその下で展開される産業や生活文化の営みに代表される地理的諸事象，そして多様性に富んだ世界諸地域について認識し，それらを多面的・多角的にとらえていく必要があります。その上で，私たちが居住する日本の現状と抱えている課題をふまえながら，持続可能な社会の在り方について考えていく必要があります。 これらの学習を通じて，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての「生きる力」を育成することを目指しています。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	○地図や地理情報システムなどの読み取りを通して，地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性，傾向性や関連する課題の発生要因について理解することで，現代世界の諸事象の地理的認識を深めている。 ○地図や地理情報システムなどの読み取りを通して，世界諸地域の特性とそこで発生する諸課題について理解することで，現代世界の諸地域についての地理的認識を深めている。 ○調査，討論，発表などの探究的な学習を通して，現代世界における日本の現状について理解することで，望ましい将来像についての認識を深めている。	○地理的事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。 ○考察，構想したことを効果的に説明したり，それらをもとに議論したりすることができる。	○知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行う中で，自らの学習を調整しようとしている。 ○よりよい社会の実現を視野に，世界諸地域や日本において見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ○地理的な課題への多面的・多角的な考察や深い理解を通して市民としての自覚を持つとともに，社会へ参画することへの意識が高まっている。
評価の方法	定期テスト 2 発表 小テスト	定期テスト（論述問題など） 発表 小テスト	ワークシート 発表 観察（学習状況,討論・発表など）

	レポート ワークシート	レポート ワークシート 観察（学習状況,討論・発表など） 学習のふり返り	学習のふり返り

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	1　地形をつくる力	1	上記に記載
	2　プレートの運動とさまざまな境界	1	
	3　変動帯の地形	1	
	4　安定地域の地形	1	
	5　河川がつくる地形	1	
	6　海岸と海にみられる地形	1	
	7　気候や地質の影響が強い地形	1	
	自然災害Ⅰ　地震と津波	1	
	1　気候の見方	1	
	2　大気大循環と気候	1	
	3　海洋と陸水	1	
	4　世界の植生・土壌	1	
	1　ケッペンの気候区分	1	
	2　熱帯の特徴と人々の生	1	
	3　乾燥帯の特徴と人々の生活	1	
	4　温帯の特徴と人々の生活(1)	1	
	5　温帯の特徴と人々の生活(2)	1	
	6　亜寒帯（冷帯）・寒帯の特徴と人々の生活	1	
	7　高山気候の特徴と人々の生活	1	
	自然災害Ⅱ　異常気象と気候変化	1	
	1　日本の地形と自然災害	1	
	2　日本の気候と自然災害	1	
	3　自然災害と防災・減災の取り組み	1	
	1　地球規模の環境問題	1	
	2　地球温暖化の背景と影響	1	
	3　オゾンホール，大気汚染の背景と影響	1	
	4　森林破壊の背景と地域性	1	
	5　砂漠化・水問題の背景と地域性	1	
	6　日本の環境問題	1	
	1　産業の変遷	1	
	2　産業構造と地域構造	1	
	1　農業の立地と形態	1	

	2　世界のさまざまな農業地域	1	
	3　グローバル化と農業地域の変容	1	
	4　拡大する世界の農産物流通	1	
	5　世界の林業・水産業	1	
	6　日本の農林水産業	1	
	1　食料問題の背景と地域性	1	
	2　食料問題の解決に向けて	1	
	3　日本の食料問題	1	
	1　世界のエネルギー需要	1	
	2　化石燃料	1	
	3　電力生産	1	
	4　金属資源	1	
	1　化石燃料への依存と国家間の対立	1	
	2　化石燃料から再生可能エネルギーへ	1	
	3　日本の資源・エネルギー問題	1	
	1　工業の立地と工業地域	1	
	2　繊維・鉄鋼・石油化学	1	
	3　自動車・エレクトロニクス	1	
	4　新しい技術と工業	1	
	5　グローバル化と工業地域の再編	1	
	6　工業の知識集約化	1	
	7　日本の工業とその変容	1	
	1　サービス経済化の進展と流通産業の発達	1	
	2　情報通信業とその集積	1	
	3　医療・福祉産業の課題	1	
	1　交通の発達(1)	1	
	2　交通の発達(2)	1	
	3　情報通信技術の発達	1	
	1　貿易の自由化と経済連携	1	
	2　現代貿易の課題	1	
	1　観光の発達と地理的展開	1	
	2　さまざまな観光	1	
	1　世界の人口分布と人口増加	1	
	2　人口動態とピラミッド	1	
	3　人口移動の変遷と今日の姿	1	
	1　発展途上国の人口問題	1	
	2　先進国の人口問題	1	
	1　村落の機能と形態	1	
	2　都市の機能と都市システム	1	

	3　都市の内部構造と大都市圏	1	
	1　発展途上国の居住・都市問題	1	
	2　先進国の居住・都市問題	1	
	3　日本の居住・都市問題	1	
	1　文化と環境	1	
	2　世界の食生活	1	
	3　世界の住居・衣服	1	
	1　世界の民族と言語	1	
	2　世界の宗教	1	
	1　世界の多様な民族問題	1	
	2　紛争と難民	1	
	3　民族問題をどう乗りこえるか	1	
	1　国家の領域と国境線	1	
	2　領土問題の要因と解決への取り組み	1	
2学期	1　地域区分の意義	2	
	2　さまざまな地域区分の方法	1	
	3　地域の考察方法	1	
	1　中国の改革開放と急速に進む工業化	2	
	2　中国の農業・農村の近代化と都市化	1	
	3　環境問題などの課題	1	
	4　経済成長により広がる中国の影響力	1	
	5　韓国の経済成長と地域構造	1	
	6　韓国の都市・農村の変化と生活文化	1	
	1　東南アジアの多様な文化	2	
	2　東南アジアの地域性と農業	1	
	3　ASEAN の政治と経済発展	1	
	4　国家間の格差などの課題	1	
	1　グローバル化と南アジアの経済発展	2	
	2　大都市の形成と格差の問題	1	
	3　インドの人口増加と農村の変化	1	
	4　南アジア世界の多様性と統一性	1	
	1　交易の歴史と人々の生活	2	
	2　乾燥地に適応した生活文化と宗教	1	
	3　資源開発にみられる二つの地域の違い	1	
	1　多様な文化の成り立ち	2	
	2　モノカルチャー経済克服の課題	1	
	3　アフリカの発展と新たな課題	1	
	1　ヨーロッパ統合の流れ	2	
	2　ヨーロッパの農業とその変容	1	

	3　ヨーロッパの産業とその変容	1	
	4　EU の拡大と地域格差	1	
	5　揺らぐ「一つのヨーロッパ」	1	
	1　多様な民族と宗教	2	
	2　ポスト社会主義時代の暮らし	1	
	3　周辺国との産業・資源をめぐる関係の変化	1	
	1　アングロアメリカの農業	2	
	2　多民族社会がかかえる問題	1	
	3　世界最大のアングロアメリカ経済	1	
	4　先端産業の発展と鉱工業地域の変化	1	
	5　情報社会に移行する大都市圏	1	
	1　ラテンアメリカの成り立ち	2	
	2　ラテンアメリカの産業の発展と経済成長	1	
	3　森林破壊などの問題	1	
	1　多文化共生の課題	2	
	2　オセアニアの資源と産業	1	
	3　オセアニアと他地域との結び付き	1	
	4　南極・北極	1	
3 学 期	1　日本の地域構造	2	
	2　日本の国土政策	2	
	1　課題と仮説の設定	2	
	2　仮説の検証と考察，さらなる探究へ	2	